



# 日本スポーツ少年団 シニア・リーダースクール概要

日本スポーツ少年団では、スポーツ少年団リーダーの資質向上並びに将来におけるスポーツ少年団指導者の養成を目的とした、シニア・リーダースクールを開催します。

ぜひ、貴スポーツ少年団に所属する団員にご紹介ください。

## 1. シニア・リーダースクールの目標

シニア・リーダースクールは、将来の指導者であるリーダーに「スポーツ少年団の単位団やリーダー会の活動において模範となって活動できる知識や技能を習得させる」ために、次の目標を掲げています。

### 1)シニア・リーダーとしての個々の資質と技能を向上させる

→スポーツ少年団のシニア・リーダーとして求められる最低限の知識と技能を習得させる

### 2)指導者に向けた継続活動を視野にいれ、自らのリーダー活動を振り返り、今後のリーダー活動への改善点を明らかにする

→参加者の個別課題に対応し、グループ活動を通じた気づきを重視する

## 2. 対象者

中学校を卒業した15歳から20歳未満のスポーツ少年団員（リーダー）

※詳細な参加条件については、開催要項をご確認ください。

## 3. カリキュラムのご紹介

シニア・リーダースクールのカリキュラムは、事前研修（指導案作成・運動適性テストに関するワークシート）、4泊5日の宿泊研修（スクーリング）、自宅での通信研修（指導案作成・レポート）で構成されています。宿泊研修は8月上旬に静岡県御殿場市の「国立中央青少年交流の家」において開催します。通信研修は、8月の宿泊研修時に課題が提示され、宿泊研修終了後、9月までに1回・2種類（指導案作成・レポート）の課題を自宅で行います。

### ①スクーリング<8月開催>

宿泊研修のプログラムは、学習活動、グループ活動、スポーツ指導実践などを通じて、参加者の知識や技能を高めることができるように設定されています。参加者は異なる地域・男女・年齢による、12～18名を1班とするグループ単位を主として行動します。各班には講師と運営リーダーが配置され、適宜、指導を行います。

【学習活動】 全体講義(理念と歴史, 組織と役割, 活動計画, 安全管理, 発育発達, 国際交流)、実習



※講義ではスポーツ指導に必要な知識を学び、実習ではリーダー自身も体を動かしてスポーツを行います。

【グループ活動】 班別活動、係別活動、テーマディスカッション、早朝活動、集団宿泊生活



※班ごとに分かれ、スポーツ活動プログラムの企画やディスカッションを行います。

【スポーツ指導実践】 小学生の団員を対象としたスポーツ活動の企画運営評価



※会場近隣の小学生団員を対象とし、参加者が考えたスポーツ活動プログラムを実施します。安全管理や効果的な指導方法を意識しながらスポーツ指導を行うことで、リーダーとして求められる力を養います。

一活動の様子をもっと見たい方へ

日本体育協会 HP(<http://www.japan-sports.or.jp/>)→写真集→シニア・リーダースクール

②通信研修＜宿泊研修後～9月＞

宿泊研修終了後から9月までを通信研修期間とします。通信研修課題は1回・2種類（指導案作成・レポート）が課され、参加者は宿泊研修での班の課題や自分の課題を実際の団活動を通して解決していきます。

通信研修課題は、宿泊研修時の班講師が添削・評価し、返却されます。

③認定＜3月＞

全課程を修了し、「シニア・リーダーとして求められる資質に到達している」と判定されたリーダーには、認定証と認定品が交付されます。

また、認定者には宿泊研修と通信研修に関する総合評価を記載した評価表が送られます。

（平成27年度までのシニア・リーダー認定者数は、8,608名）。

5. 平成27年度シニア・リーダースクール参加者の声



「指導者に必要な要素やスキルを学ぶことができた」

「話し合いの進め方や意見の述べ方などが勉強できた」「小さい子を相手にする難しさ・楽しさを改めて認識できた」「将来指導者になるための実践ができた」「5日間のプログラムは、最初は長いと思ったが、いざやってみるとあっという間で楽しかった」など…